

2022年BSサミット事業協同組合 新春賀詞交歓会を開催

BSサミット事業協同組合 新春賀詞交歓会



磯部君男理事長

BSサミット基本宣言・活動指針の刷新
まず初めに、BSサミット基本宣言・活動指針の文言が変わったことにお気付の方も多かと思いますが、具体的には「時代の先端をゆくポディーショップ経営を目指す」という文言から「時代の先端をゆくモビリティサービスを追求しよう」と、そして活動指針では「オートアフタービジネスを通して安心安全な交

通社会を実現します」という文言が「オートアフタービジネスを通して安心安全なモビリティ社会に貢献します」というように改訂されました。車体整備業という事業領域を超越し次世代自動車をはじめとする様々なモビリティに対応するサービスネットワークに革新する事を主軸として組織設立以来の大改革を推進し進めたいと述べています。

電気自動車ファーストから電気自動車オンリーへ
昨今の自動車整備業を取り巻く情勢ですが、世界の主要自動車メーカーは「電気自動車」への切り替え戦略を表明し、激しい企業競争になってきていることが承知かと思えます。自動車業界は自動車の歴史100年の大きな節目・変革という正念場であり、COP26でも「カーボンニュートラル」に焦点が絞られており、このカーボンニュートラルを受け、日本を含む主要各国は、2030年を目途にガソリン車の販売中止、電気自動車へのシフト宣言をしており、電気自動車ファーストから電気自動車オンリーの様相となつてきております。我が国においても、このカー

ボーンニュートラルの実現に向けてトヨタが、昨年12月14日の説明会にて2030年までにEV車を30車種展開すると発表しました。日産自動車も30年までにEV車15車種を投入する予定です。軽自動車についてもEVシフトの波が押し寄せてきます。

自動車整備と車体整備の垣根がなくなる
次世代自動車の進展に伴い、自動ブレーキを初めとする予防安全機能の高度化が進み、交通事故の件数は大幅な減少が繰り返されてきています。この状態が続くと、3年から5年以内には車体整備業に大きな業態変化が起きてきます。車体整備業と自動車整備業の垣根がなくなり、新たな整備業としての価値が生まれる可能性が広がります。

こうした事業環境変化を踏まえ、企業の特長性を考慮した事業計画を立て「モビリティサービス業」としての経営シミュレーションを考へることで、その一つの取組みとして、オートバックスペースなどの業務提携がございまして、地域連携という形でお互いに足りない部分を補完し、全国各地域での新たなモビリティサービスを展開して参ります。

モビリティサービスにおける整備士は、エミシングを始め、ファイネスやスキャンツールなどを駆使した高度な診断解析業務が主体となりま
す。だからこそ、電子整備技術に長けた「モビリティドクター」になっていく必要があります。自動車運搬社会は、自動車の安心と安全が担保され、快適性・利便性を追求し

判断いたしました。これまでご説明して参りましたように、従来の業務内容や整備技能では対応できなくなることは、火を見るよりも明らかであります。診断作業や再設定業務が主となり、モビリティサービス業として、車体整備業界・自動車整備業界の垣根を超えた新業態が進行する初年度となります。

BSサミットが見据える次世代自動車に向けた活動
以上の状況を踏まえ、昨年まで進めてきた活動内容をご説明いたします。まず、特定整備認定パターン3の取得ですが、全国9万1千430工場ある中で、現時点で2万7千950工場が取得しております。31%の取得率です。一方、BSサミット工場は95%の取得率となっており、残り2%は認可待ちとなっており、残り3%は認定待ちとなっております。次に昨年10月より実施された新点検基準では、車載式故障診断装置の診断が追加され、24年10月にはOBD車検も始まり電子的な作業への対応が求められてきます。この対応には昨年7月「次世代自動車」の整備・DTCと再設定作業」のDVDを制作・配布し、各社スキルアップをして参ります。また、この春より本格的な電気自動車時代が始まる事を想定し、昨年11月に「電気自動車の基礎知識」のDVDを制作し、組合員に配布致しました。電気自動車に特化した内容となっており、より一層の理解力アップを進めて参ります。そして昨

年までは、次世代自動車の階層教育の中でファイネス研修、スキャンツール研修、DTC再設定作業などを全国規模で行い研鑽して参りましたが、今後の業界動向によっては、従来の研修のバージョンアップや、電子機器を駆使した高度整備技能の研修も視野に入れて参ります。

市場の変化に対処できた企業だけが生き残る時代に、世界各國のEV車整備技術を研鑽する為にBSサミットは、これまでドイツZF、すなわちドイツ車両技術中央連合と連携を深めて参りました。その後、ZFの紹介により昨年3月、国際車体修理協会(AIRC)に正式加盟が承認されました。因みにこの加盟は、各国1団体のみとなっております。次世代自動車時代は想像を超える速さで進展しており、BSサミットはグローバルな情報収集を含め、諸活動を展開して参ります。

この様に変化の激しい状況下では、これからの市場変化を正しく理解しレスポンス良く対処できた企業だけが事業継続が可能といっても過言ではありません。全ての項目を同時進行で実行していかないと業界変化に取り残され、企業として生き残れなくなりま

す。だからこそ、「モビリティサービスの追求」を旗印に、次世代自動車時代を迎えた自動車業界に対応していかねければなりません。また、それに合わせて、活動の主軸をこれまでのBtoBからBtoCへのシフトも必要と考えます。

新春早々、長々とご説明させて頂いたと思いますが、この新たなビジネスの潮流に組合員一丸となって取り組むことで、2022年・激動の時代の1ページを乗り越えて参ります。最後になりますが、今年もBSサミット事業協同組合にお変わりなくご支援・ご協力をお願いして新年のご挨拶とさせていただきます。

BSサミットが掲げる「時代の先端をゆくポディーショップ経営を目指す」「時代の先端をゆくモビリティサービスを追求しよう」「オートアフタービジネスを通して安心・安全な交通社会を実現します」「オートアフタービジネスを通して安心・安全なモビリティ社会に貢献します」

初めから立ち上げます。自動車メーカーから選ばれる工場に

BSサミットが掲げる「時代の先端をゆくポディーショップ経営を目指す」「時代の先端をゆくモビリティサービスを追求しよう」「オートアフタービジネスを通して安心・安全な交通社会を実現します」「オートアフタービジネスを通して安心・安全なモビリティ社会に貢献します」

BSサミット、組織創設以来の大改革 「モビリティサービスの追求」を旗印とした変革を!

クラウド型自動車钣金業務支援システム



らくらく導入、かんたん操作

『日常業務の効率化』をサポート!



钣金伝票発行



3D 部位部品選択



钣金工程管理

いつでも、どこでも システムを使いたい!

と思ったことはありませんか?

ブロードリーフのクラウドは

すぐに使えて、場所、端末に依存しない、

新しい働き方を実現します。

必要な機能を必要な分だけ導入可能、

組み合わせは自由自在です。

詳細はQRコードを読み込んでください



株式会社ブロードリーフ





政界から多数のご来賓に参加いただきました

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年振りの開催となった2022年新春賀詞交歓会の第一部・全体会議は、増田副理事長による開会の辞で幕を明けました。コロナ禍にも関わらず320名を超える方々にご列席いただいた本会は、刷新された基本宣言・組織理念・活動指針の唱和から、機部理事長の挨拶と続いたのちに、ご来賓の皆様からご挨拶を賜りました。

まずは、安全な自動車の車体を確保する議員連盟(以下、議員連盟)・顧問、BSサミット顧問の中川秀直先生から「この2年間、色々な思いをなされて、時には耐え、時には新しい時代の手掛かりを求めて、色々なことを考えられた時期だったと思います。機部理事長の挨拶を伺いまして、本当にこの組織は、変わらなければ生き残れないというところを一番よく分かっておられる。前進、また前進という組織であると確信を持ちまして、また改めて敬意を感じた次第でございます」とBSサミットの挑戦し続ける姿勢に対し評価のお言葉を頂きました。

続いて、議員連盟・幹事、公明党衆議院議員伊藤渉先生からは、「機部理事長のご挨拶を拝聴しまして、理事長の先見性に牽引されて、自動車ユーザーの安全・安心、そして解決性向上のために日夜努力されているBSサミット組合員の皆様にご敬意と御礼を申し上げます」と労いのお言葉を頂きました。

議員連盟・議長を務める自由民主党参議院議員赤池誠章先生(内閣府副大臣)からは「我が国の最大の産業が今日ご集集の皆様方、自動車産業であり世界経済の牽引役でもあるわけですから、国としては先進技術への対応、人材の確保、そして何と云っても生産性の向上を伴うグリーン化、デジタル化に耐えうる生産基盤の強化が課題でございます。そのために様々な補助金や税制、使っているだけのお金を政府の職員としてお約束いたします」と、官民一体となって邁進していく必要性についてお話しくださいました。

また、2020年にBSサミットと包括的業務提携を締結した株式会社オートバックスセブン(以下、オートバックスセブン)の小林喜夫代表取締役社長は「昨年は、キャリアレーンションエリアの共用、ロードサービス車両の配備など連携が進んでいますが、なかなか一つの形で全国を網羅していくのは難しい。地域毎で色々な事業者がいらっしゃる。ですので、その方と一つ一つの形を作りながら展開していきたいと思っております。今後はしっかりとスピードを上げてお客様を守るための連携を、機部理事長をはじめ皆様と一緒に推進していきたいと思っております」と、高みを目指して邁進する覚悟を示しました。

そして懇親会でもまた、ご来賓の先生方にご挨拶をいただきました。まずは、議員連盟・会長、自由民主党衆議院議員細田博之先生に乾杯の発声をお願いいたしました。まずは、議員連盟・会長、自由民主党衆議院議員細田博之先生に乾杯の発声をお願いいたしました。

次に国土交通大臣に就任した齊藤鉄夫先生にご登壇いただき「BSサミット事業協同組合の皆様におかれましては、先進技術の進展に伴う整備技術の高度化への適切な対応を通じて、日本の自動車整備業全体の発展への更なるご貢献をお願いできればと存じます」と有難いお言葉を頂きました。続いて、議員連盟・事務局局長でBSサミット顧問を務める佐藤ゆかり先生、さらに自由民主党衆議院議員永岡桂子先生、尾身朝子先生からも、新年のご挨拶とモビリティサービスの追求を掲げるBSサミットへの期待を言及いただき、共に業界を盛り立てていく想いを示していただきました。

来賓の挨拶に続き、BSサミット顧問の本田勝様による乾杯の発声でお食事及び歓談の時間へ移行しました。また歓談の途中には、ス

モビリティサービスへの転換

2年ぶりの新春賀詞交歓会で華やかにスタート!

感染防止対策を施した ウィズコロナ時代の新年会に

第一部 全体会議



株式会社オートバックスセブン 小林喜夫代表取締役社長執行役員

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年振りの開催となった2022年新春賀詞交歓会の第一部・全体会議は、増田副理事長による開会の辞で幕を明けました。コロナ禍にも関わらず320名を超える方々にご列席いただいた本会は、刷新された基本宣言・組織理念・活動指針の唱和から、機部理事長の挨拶と続いたのちに、ご来賓の皆様からご挨拶を賜りました。

休息を挟み行われた第二部・懇親会は、コロナ禍というところもあり感染防止対策を施した普座での開催になりました。引き続き多数の来賓の皆様にご参加いただき華やかな会として懇親を深めることができました。

BSサミット顧問の本田様乾杯の発声をお願いいたしました。



と、一つの目的のために共に邁進していく方針について言及されました。

またご列席いただいた損害保険会社様、ロードサービスアシスタンス会社様のご代表の方々からも、BSサミットへのご期待や激励に溢れた温かいお言葉を賜り、組合員一同の引き締まる思いを抱くこととなりました。



BP経営マネジメントシステム

全国販売・保守サポート承ります!!

お問い合わせは下記へ

コグニ7で作成した見積書をベースに『工程管理』、『作業状況管理』、『売上粗利管理』、『担当者別売上管理』が実現します

【代車状況一覧画面】

【作業状況一覧画面】

【担当者作業状況画面】

Emotional Business Enhancer
EBE inc. 株式会社 EBE (イーバ)

東京都千代田区神田淡路町2-23-1 お茶の水セブン 4F
TEL:03-5298-1851 / FAX:03-5298-1852
http://www.e-b-e.co.jp/

全国の支部長が集い「拡大理事会」および「臨時総代会」を開催

2年振りの集いを 有意義な情報共有の場に



賀詞交歓会の開催前、全国の支部長が集まり「拡大理事会」および「臨時総代会」を開催しました。第一部「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員



賀詞交歓会の開催前、全国の支部長が集まり「拡大理事会」および「臨時総代会」を開催しました。第一部「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員



「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

迫る完全自動運転社会 レベル4実現に進展!

昨年12月23日、警察庁が「自動運転の実現に向けた調査検討委員会 検討結果報告書」にて、特定の条件下で運転を完全に自動化する「レベル4」の自動運転車を地域の移動サービスで使用するための許可制度を創設する方針を明らかにしました。

今回、方向性が定められた論点は、「運転者の存在を前提としない自動運転システム」の性能について、「認定による特例の適用について」「審査基準及び審査方法について」「関係者間の理解と協力を得るための手段について」「行政処分」の5つとされています。

政府は、自動運転の市場化・サービス実現のシナリオとして、移動サービスの目的を「全国各地域で高齢者などが自由に移動できる社会」とし、2025年度の対応を限定領域において早期に必要な制度整備を行い、限定領域外となった場合も直ちに運転者が運転を引き継ぐ必要がなく、この場合には自動的に安全に停止する性能を有するものが挙げられます。つまり、自動運転レベル4になると「安全運転に係る監視、対応主体」が「安全運転に係る監視、対応主体」に変わります。

「安全運転に係る監視、対応主体」が「安全運転に係る監視、対応主体」に変わります。これは、自動運転レベル4の実現に向けた重要なステップです。政府は、自動運転の市場化・サービス実現のシナリオとして、移動サービスの目的を「全国各地域で高齢者などが自由に移動できる社会」とし、2025年度の対応を限定領域において早期に必要な制度整備を行い、限定領域外となった場合も直ちに運転者が運転を引き継ぐ必要がなく、この場合には自動的に安全に停止する性能を有するものが挙げられます。つまり、自動運転レベル4になると「安全運転に係る監視、対応主体」が「安全運転に係る監視、対応主体」に変わります。

「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

「拡大理事会」の冒頭には自由民主党参議院議員 赤池誠章先生から国政の報告をいただきました。報告ではまず、事業再構築補助金、中小企業生産性向上革命推進事業補助金といった、BSサミット組合員工場が活用できる補助金についてご説明をいただきました。事業再構築補助金は申請の用途が限られているが、電動車対応の設備投資であれば申請可能であることなど具体的な例を挙げ説明いただきました。また、オミクロン株の感染が広がる中、ワクチン3回目接種の推進や経口薬の承認、マイナポータルを活用したワクチン接種証明書の普及などを通じて社会経済を回していく政府の方針について説明されました。

拡大理事会は増田副理事長による開会宣言、新しくなった基本宣言・組織理念・活動方針の唱和、理事長挨拶と続きました。磯部理事長は今回の賀詞交歓会を「BSサミットの進むべき道を示す場所である」とその重要性を説きました。その他、業界動向について、BSサミットが進めている計画の進捗状況について、深刻な整備士不足への向き合い方など、約40分に渡る情報提供に盛り込まれた。冒頭に国政について報告する赤池誠章参議院議員

センター出し 位置出し
ターゲット設置
全てをこの1台で

ITS-01-SET

ADASキャリブレーション用
ターゲットスタンドセット

※ターゲットシートは商品に含まれておりません

- ターゲットスタンド設置場所が勾配でもレベル調整が可能。
- ターゲット設置にレーザーを活用、作業を大幅に短縮!
- ターゲットのレベル出しも可能。※別途三脚等が必要

エーミング作業の前にはホイール・ボディアライメント作業が必要です

CAROLINER
ボディもダメージも選ばない

カートロニック・ピジョン2 X2/X3

業界最多: 約17,000種もの車両データを収録、あらゆる事故車に対応した究極のボディアライメントシステム

HUNTER
ホイールアライメントの新時代を切り拓く

ホークアイエリート WA670

最新鋭のカメラシステムは精緻でスピーディな作業を実現! 高い信頼と生産性を約束します

IYASAKA 本社/〒113-0034 東京都文京区湯島 3-26-9 TEL.03-3833-6110 FAX.03-5688-7074

「安全運転に係る監視、対応主体」が「安全運転に係る監視、対応主体」に変わります。これは、自動運転レベル4の実現に向けた重要なステップです。政府は、自動運転の市場化・サービス実現のシナリオとして、移動サービスの目的を「全国各地域で高齢者などが自由に移動できる社会」とし、2025年度の対応を限定領域において早期に必要な制度整備を行い、限定領域外となった場合も直ちに運転者が運転を引き継ぐ必要がなく、この場合には自動的に安全に停止する性能を有するものが挙げられます。つまり、自動運転レベル4になると「安全運転に係る監視、対応主体」が「安全運転に係る監視、対応主体」に変わります。

特集 EDRは車体整備を変えるか

連載第2回

EDRデータ活用の資格について

EDRに繋いだデータの読み出しイメージ



EDR (Event Data Recorder=イベント・データ・レコーダー)は、自動車事故の損害調査はもとより、その後の事故対応や車体整備なども含め、様々な分野に影響を与えようとしています。

果たして車体整備にどのような影響を与えるのでしょうか。今回はEDRデータを活用するにあたっての資格について解説してまいります。

CDRアナリストの認定資格

車載記録装置であるEDRは、事故時の衝撃によって規定の車両状態を記録しますが(前号参照)、その記録データの読み込みには専用の機材が必要となります。CDR (Crash Data Retrieval) ラッシュデータリトリバル)と呼ばれる専用ツールで、自動車機器のグローバルサプライヤー、ポッシュ(株)が市販市場において唯一提供しています。

CDRの取り扱いについては、EDRからの読み出し、更には読み出したデータの解析などに特殊な技能が求められることから、ポッシュ(株)は、EDRアナリストがEDRの読み出しと解析を行うフルライセンスの資格であるのに対し、2021年10月に創設、同年12月からスタートした「CDRテクニシャン」はデータの読み出しのみに特化したポッシュ(株)の新たな認定資格です。

新たに創設された「CDRテクニシャン」制度

CDRアナリストがEDRの読み出しと解析を行うフルライセンスの資格であるのに対し、2021年10月に創設、同年12月からスタートした「CDRテクニシャン」はデータの読み出しのみに特化したポッシュ(株)の新たな認定資格です。大手損害保険会社によると、国内の事故調査の対象車は約150万台にのぼるといわれる中、EDRデータを活用する調査は約4000台にとどまっています。

認定資格取得のコスト

CDRアナリスト、CDRテクニシャンに認定されるコストは、ともにトレーニングの受講料の他、読み出しツールのCDRとソフトウェアの購入が必要で、受講料はCDRアナリストが50万円ですが、前述した参加条件を満たしていない場合、ポッシュシステムテクニシャンの簡易トレーニングを受ける必要があり、こちらが4日間で40万円の費用がかかります。一方、テクニシャンのトレーニング受講料は10万円(いずれも税別)となっています。この他、機器としてのCDRの購入(約80万円)とソフトウェア



EDRデータを読み出す専用ツール「CDR」

が求められるCDRアナリストに対し、CDRテクニシャンはデータの読み出しに特化したトレーニングを2日間(40時間)のプログラムとなるCDRアナリストトレーニングを受講し、最終日に実施される認定試験に合格すると認定を受けることができます。CDRアナリストは大手損害保険会社や警察関係者、自動車メーカーを中心に2700人が認定されています(2021年12月時点)。



「CDRテクニシャン」トレーニングの様子

のライセンス料(アナリストの場合年間26万円、テクニシャンの場合12万円)が必要で、両者の認定資格取得するコストは決して安くはない。また、この初期投資に見合う事業やシナジーがあるのかという疑問が当然湧いてくる

だろうか。今回は資格制度の制度設計のビジョンに加え、親和性について検証します。制度と販金・塗装事業者との親和性について検証します。



東京オートサロン2022

カーボンニュートラルを見据えたカーライフの提案

今年、TOYOTA Gazoo Racing (トヨタ自動車)、Sバル(SSTI、ダイハツ工業、本田技研工業、日産自動車、三菱自動車)が主催する自動車ユーザーを厚くサポートする旧車ビジネスの盛り上がりも感じる展示会と

業界動向 ニューズ

世界最大級のカスタムカーと関連製品の展示会「第40回東京オートサロン2022」が、1月14日(16日)に千葉・幕張メッセにて2年ぶりに有観客で開催されました。新型コロナウイルスの変異ウイルス(オミクロン株)の急拡大に警戒を高め、入場制限や接触確認アプリの導入など、重なる感染防止対策を実施。出展社数366社、展示車両712台、ブース総数3318小間の中、3日間の合計来場者数は12万6869人となりました。来場できない場合でも情報を得られる「オンラインオートサロン」では、会期中3日間のライブ配信再生回数が日本語、英語、中国語合わせて42万6960回となり、海外からの注目度の高さを伺える結果となりました。

移動の進化で社会を変える、進化するモビリティサービス

Scash
企業・従業員間カーシェアサービス

企業と従業員との間で社用車のカーシェアリングを実現するソリューションです。1台の社用車をビジネスとプライベートで使い分けるよう、クルマの稼働データとアプリの利用データ等から公私の区別を判定します。通勤はマイカー、仕事は社用車という「常識」を変革します。

Mobility Passport
社用車・レンタカー アプリ

働き方改革により移動時間の更なる効率化やコスト最適化の観点から、社用車以外の移動手段を組み合わせて採用する企業が増えています。Mobility Passportは、アプリで社用車を予約でき、社用車に空きが無い場合は「レンタカーを手配」といったスムーズな移動体験を提供します。

車両台数最適化
モビリティミックス

リース料・駐車場代・保険料など複数の費用が発生する社用車の稼働実績を分析し、社用車とレンタカーとの利用を組み合わせることでコストが最小となる社用車台数を算出するソリューションです。複数の移動手段を有効に活用することによる最適な社用車台数・コスト削減額を提案します。

共通マスタ
マスタデータの一元管理を実現

モビリティ管理システム

SMAS-Smart Connect

Mobility Service Platform

住友三井オートサービスはニコビットレンタカーとしてBSサミットの会員の皆様と共に代車インフラの整備に連携して取り組んでまいります。

住友三井オートサービス株式会社
東京営業第六部
〒163-1434 新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル
TEL: 03-5302-9893
<https://www.smauto.co.jp/>

オートアフターマーケット連絡協議会

定例会が開催

2022年1月21日(金)、東京都千代田区海軍センタービル4階会議室にてオートアフターマーケット連絡協議会の定例会が開催されました。同協議会は、自動車アフターマーケットに関する幅広い事業者の情報交流の場を創出し、それぞれのビジネスの拡大や発展に向けた議論を行い、自動車ユーザーの便益拡大に寄与する活動を通じて社会に貢献することを目的に、2012年に発足。現在はBSサミット事業協同組合、全日本ロータス同友会、株式会社オートバックスセブンを始め、自動車アフターマーケットの各業界団体など16社・団体が会員として名を連ねています。



定例会の冒頭で代表理事を務めるBSサミットの藤野副理事長は「昨年テスラを注文し納車されました。スマートフォンでタップするだけで、実車も見ずに購入できました。納車も車検証を見せられるだけの僅か5分程で終わりました。当社の中では、今年はEV元年だ、何が起ころかは分からないけれど、これに備えて色々なことを考えて経験してみよう」と言っています。

冒頭の挨拶をする藤野副理事長は「何を言いたいかというと、クルマを販売するメーカーがこれまで変わっています。当然ながら、我々も変わらざるを得ない」ということをしっかりと認識して、これから起こることに対していかなければならぬのではないのでしょうか」と挨拶し、アフターマーケット事業にあらためて新しい時代の到来にあたる必要性を説きました。

続く一つの議題では、同協議会が推進するプロジェクト「いいクルマアワード」および「洗車の日」について報告が行われました。「洗車の日」プロジェクト報告においては、昨年11月28日(イイツヤの日)にBSサミット組合員工場が運営する「プロジェクト奈良(株式会社方ラッシュモリ)」にてコラボイベントを行ったことが報告され、次回4月28日(ヨイツヤの日)への協力も約束されました。また、各会員の最新状況と業界動向の共有では、BSサミットの金子事務局長代理から、先般の賞詞交歓会で機部理事長が発表した新たな組織理念・活動指針などについて説明を行いました。

オミクロン株が猛威を振るう中、リアル参加とオンライン参加のハイブリット型で行われた定例会は、予定時間をオーバーするほど濃密な情報に満ちた会となりました。今後も自動車アフターマーケットに関わる事業者がより一層連携を深めて、新しいアフターマーケットの創造を実現することが望まれます。



定例会はリアルとオンラインのハイブリット方式で開催

「いいクルマアワード2022」投票開始!

今年で6回目の開催となる「クルマ屋さんを選ぶ いいクルマアワード2022」の投票が、2月10日(木)から開始されます。BSサミットも加盟するオートアフターマーケット連絡協議会が主催する同アワードは、自動車製造(メーカー)の視点ではなく、整備や修理、钣金塗装、用品部品販売、新車・中古車の販売および買取、ロードサービス、ガソリンスタンド、カーディティリング、保険などに携わる自動車アフターマーケット事業者たちが、WEB上でのアンケート投票で、本当に「いいクルマ」を選び、表彰するものです。

特別賞として表彰されます。アフターマーケットのプロ達が、日頃の作業や販売などを通じて感じる各車のメリットが結果に反映されるため、一般ユーザーにとっても有益な情報が詰まったアワードとなっています。この機会にぜひご投票ください。



昨年度大賞車プリウスと特別賞車レヴォーグ

アワードは「コスバ部門」「トラブルレス部門」「リセールバリュー部門」の3部門で構成され、インターネット上のアンケート投票で最多票を獲得したクルマが大賞として、投票数だけでなく総合的な視点により選考委員会で選出されたクルマが

<実施概要>
 イベント名:クルマ屋さんを選ぶ いいクルマアワード2022
 投票期間:2022年2月10日(木)12時~2022年3月11日(金)23時59分
 投票URL:https://gc-award.jp(オートアフターマーケット連絡協議会HP内)
 部門:コスバ部門・トラブルレス部門・リセールバリュー部門
 表彰・発表:オートアフターマーケット連絡協議会HPにて
<問い合わせ>
 オートアフターマーケット連絡協議会 事務局(株式会社ジェイシーレゾナンス内)
 E-mail:info@autoaftermarket.jp/Tel:03-5422-9446/http://www.autoaftermarket.jp/

IAAE2022 3年振りのリアル開催へ



自動車アフターマーケットの祭典「第19回国際オートアフターマーケットE」が、今年11月9日(水)から11日(金)の三日間、東京ビッグサイト西1・2ホールで、三年振りのリアル開催となります。IAAEは、自動車の整備・メンテナンスをはじめ、自動車を取り巻く環境・インフラなど、様々な自動車アフターマーケットに関する最新情報、業界動向について、セミナーや実演・展示などにより、最新の情報を発信する場として知られる、自動車アフターマーケットにとって有意義なビジネス交流の場を創出するコンベンションです。19回目の開催となる今回は、およそ300社・団体/490小間が出店予定(2022年1月28日時点)が予定されており、B

点で、新型コロナウイルス感染症の影響により三年振りのリアル開催となるため例年以上の盛り上がりが見込まれます。BSサミット事業協同組合としても、今年の賞詞交歓会で刷新した組織理念・活動指針の認知拡大をはじめ、当組合の先進的な取り組みを業界関係者に広くアピールすべく、今年も協賛会社各社とともにブース出展を行います。また、会期3日目は、例年多くの方に聴講いただいている「オートアフターマーケットサミット2022」が予定されており、B

Sサミットの副理事長を務める朝日自動車株式会社の藤野 利浩代表取締役を含む各業界団体の代表者が登壇予定です。それぞれの視点から現状のオートアフターマーケットの分析や課題、今後の展望などに言及されま

使用量削減・作業時間短縮 **Autoclear Expert HS**
 新製品! オートクリヤー エキスパート HS

高効率と利益最大化を見据えた設計
 肌伸びが良く、今まで通りの使用量でより広い面を塗装することが可能です。使用量を減らしつつ処理台数増加が見込める生産性と利益の向上へ導きます。

アクゾノーベルコーティング株式会社 東京都国立市4-8-7 TEL:042-843-0081 https://www.sikkensvr.com/jp

CREATING TOGETHER **AkzoNobel**

溶接 **充電** **フロン**

全自動フロンガス回収機 CS-YF134WS(2タンク型) HFO-1234yf HFC-134a 兼用型

各種バッテリー完全対応充電器 BR-MAX70IS Brain Max. アイドリングストップ MF/シールド、車中泊

D.Cインバーターズホット溶接機 SW-VZ120 超高温、ポロン槽 すべてに対応

「明日をひらく」デンゲンの技術 **DENGEN**

WÜRTH

ドイツ発のグローバルパートナーとして
 トータルモビリティサービスを支援

世界86ヵ国以上での実績から
 4つの価値で皆様をサポートいたします。

工場資材 付加価値サービス
 在庫管理システム 安全衛生/ワークウェア

ウルトジャパン株式会社 | 045-488-4186 | support@wurth.co.jp

第15回

インテリジェント クリアランスソナーの登録設定

BS TECHNICAL
最新自動車技術・事故車修理

TEXT: 泉山大 (プロジェクトD)

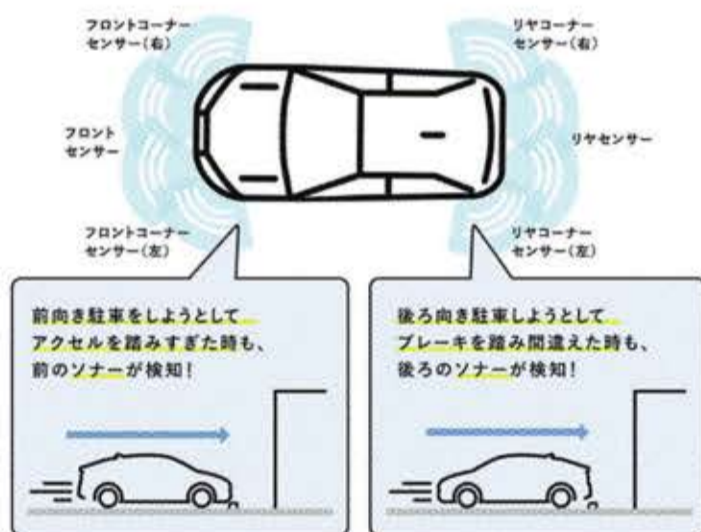
ペダルの踏み間違い防止
コーナーセンサーの役割

ADASのデバイスでは特定整備(電子)の対象装置である前方センシングのフロントカメラやレーダーの整備や取り扱いに注目が集まっていますが、フロントとリヤのそれぞれの角に備え付けられているセンサーも重要なADAS装置であることに変わりはありません。とりわけ、最近では高齢者ドライバーによる事故が増加し、中でもペダルの踏み間違いによる事故はドライバーがパニックになることで大惨事になることもしばしばです。クルマの四隅などに備えつけられたセンサーはそうした事故を未然に防ぐアクティブセーフティの機能であるとともに、現在は軽乗用車にも広く搭載されるなど整備頻度の高いADAS装置といえます。

トヨタのインテリジェント
クリアランスソナー

トヨタのペダル踏み間違い防止装置及びパーキングサポートブレーキシステムはインテリジェントクリアランスソナー(以下、ICSと表記)が担っており、ウルトラソニックセンサーと呼ばれるセンサーが監視を行います。このセンサーは前後の両角に一つずつ、前後中央に二つずつ配されており、計8つのセンサーがバンパーカバーに埋め込まれる形で搭載されています。トヨタは駐車場で発生した事故の内、約2,500件の事故データを調査した結果、ICS搭載車ではブレーキとアクセルの踏み間違い事故で約7割減少し、後退時事故件数は約4割減少したと発表しています。ICSによる事故の防止効果が高いことが窺えるデータと言えます。なお、トヨタが現在発売するほぼ全ての乗用車(「86」や「スープラ」、OEM車は除く)にICSが設定されています。また、後付けによるシステムも発売されており、既販車に搭載されるケースも増えています。

前後4つずつ、計8つのソナーで障害物を検知!



※出典: トヨタ自動車ホームページ

センサーの角度測定と登録
適正な作業と請求を

のように普及が急速に進むICSですが、フロントカメラやレーダーなどの前方センシング装置と比べ、センサー交換後(バンパーカバー脱着後)に必要な作業などの理解が広がっていない懸念がわれています。その結果、誤った作業により、機能が正常に作動しないケースや、作業費用の未請求、場合によっては作業自体の未実施ということもあるようです。バンパーカバーの脱着につきましては钣金作業で最も多い作業のうちのひとつであり、トヨタの多くの乗用車で普及が進むシステムということを鑑みれば、かなり重要度の高い作業といえるでしょう。したがって、ウルトラソニックセンサーの整備作業についてはしっかりと知識を身につける必要があります。なお、フロントとリヤのバンパーカバーの脱着、ラジエータグリルの脱着を含め、ウルトラソニックセンサーの交換後は必ずセンサーの高さと角度測定、そして角度の登録設定作業が必要となります。

ウルトラソニック
センサーの高さ測定

ウルトラソニックセンサーの角度測定と登録作業について注意すべきはフロント・リヤそれぞれのバンパーカバー交換後はもちろんのこと、脱着のみの場合でも作業が求められる点にあります。センサー交換後、角度の登録作業を行っていない場合、メーターパネルに「ICS故障」や「パーキングサポートブレーキ故障」といったアラートが出ますが、バンパーカバー脱着の場合はアラートが出ないこともあり、作業を見逃してしまう可能性がないとはいえません。またセンサー角度の測定を行わず、角度の入力を実施しなくても登録は完了し、アラートが消えるケースもあって、一時しのぎとして対応する事業者の話もききます。その場合、ICSの機能が正常に作動しない可能性があり、注意が必要です。

角度測定を実施するにあたっては、まず各センサーの位置の高さ測定が求められます。この値は車種やグレードによって異なりますので、必ず整備書を閲覧し、基準値を確認する必要があります。高さについては基準値内に収まっていればいいのですが、その範囲が広い場合、とすると確認するまでもないと思われるかもしれませんが、空気圧が適正でない場合や足回りのカスタマイズを行っている場合などもあり、しっかり計測して確認する必要があります。

センサー角度測定の
留意点

センサーの高さ位置が基準値内にあることを確認後、次に各センサー角度の計測をデジタル角度計を使って行います。角度の基準値も車種毎に異なりますので整備書に基づいた確認が必要です。デジタル角度計は市販品のもので充分対応が可能ですがICSセンサー用アタッチメントを取り付けることで、より正確に、よりスピーディに測定できるため、アタッチメントも準備しておくことがベターです。最近ではICS用のアタッチメントも汎用品として販売されており、手に入りやすくなっています。

デジタル角度計

センサー面

ICCSセンサー用アタッチメント

ウルトラソニックセンサーの角度測定は上図のようにセンサー面にアタッチメントを固定して計測します。なおセンサーの搭載角は、図の通り水平より上向きになっており+側に位置しています。また、デジタル角度計を横にするため、測定値から90°引いた値が搭載角となります。その値が各車の基準値内にあるかを確認します。

センサー角度の
登録設定

最後に、測定したセンサー角度をECUに記憶するための登録設定を行います。お手持ちのスキヤンツールをDLCに接続し、スキヤンツールの画面表示にしたがって作業を進め、前章で計測したセンサー角度などを入力すれば登録設定は完了です。

ADASによる運転支援機能は万が一の際の命綱です。そうした面で機能が適正に作動しないということがないよう、整備書に沿ったメンテナンス作業が求められます。また、適正な作業を行うことで適正な対価を求めることができます。ICSの登録については路面傾斜角度確認から、前述したセンサーの高さ測定、角度測定、登録についてのスキヤンツール操作に至るまで指数が設定されています。ICS作業の正しい知識を身につけることで、安全・安心の整備と収益性を高めていくことができるのです。

月別リサイクルパーツ別実績 2021年11月～2021年12月(全国)

※その他＝エンジン・ミッション・ラジエター・コンデ
ンサー・コンプレッサー・フロントガラス等のリサイク
ルパーツ(新品パーツは除く)

内 訳	2021年		合 計
	11月	12月	
	数 量	数 量	数 量
フロントバンパー	432	386	818
リアバンパー	283	245	528
ヘッドライト	558	573	1,131
ボンネット	170	184	354
フェンダー	374	381	755
ドア	644	705	1,349
トランクリッド・リアゲート	241	196	437
テールランプ	369	345	714
その他*	2,667	2,590	5,257
合計	5,738	5,605	11,343

BSサミット 販売促進委員会

リサイクルパーツ普及拡大に向けて

自動車リサイクル部品でカーボンニュートラルに貢献

事故車修理時のコスト低減は、損害保険会社やユーザーにとっても、ますますニーズが高まっております。BSサミットでは、環境負荷低減とともに、こうしたコスト削減に寄与することを目的として、販売促進委員会を中心とし、自動車補修部品のリサイクル促進を進めています。今後とも積極的なリサイクルパーツの活用をよろしくお祈いします。

BSサミットの協賛会社であるNGP様が、グリーン購入ネットワーク事務局の主催する「第22回グリーン購入大賞」において、「自動車リサイクル部品でカーボンニュートラルに貢献～削減効果の定量化と研究成果を活用した普及・啓発～」というテーマで、「大賞・経済産業大臣賞」を受賞しました。

リサイクル部品生産時に発生するCO₂は、新品部品生産時に発生するCO₂に比べて極めて小さく、カーボンニュートラルに大きく貢献できます。組合員各社の取り組みは決して無駄なことではありません。積み重ねることによって大きな成果に繋がっていきます。今後も普及拡大へのご協力をお願い致します。

ストップ！粗悪修理！！

「ストップ粗悪修理」は、次世代自動車研究委員会や広報委員会を中心に収集している他社工場での粗悪修理情報を、BSサミットニュースやカーケアプラスなどのメディアを通じて公開しております。

不具合車両の撲滅とユーザーへ安心と安全を提供すべく、本来あってはならない修理不具合・不正修理の現状・実態を明らかにし、適切な修理を行うことの重要性を呼びかけております。今後とも主旨をご理解いただき「修理不具合情報」のご提供をよろしくお願いいたします。

不完全修理例① フロントクロスメンバーの損傷が未修理、車体寸法の狂いで取り付け不具合に！

お客様から「バンパー取り付け部の隙間が不自然である。またヘッドランプ取り付け部がおかしいので調べて欲しい」と入庫した車両。調査した結果、フロントクロスメンバーの損傷が未修理のまま残っていることが発覚しました。車体寸法を計測してみるとエンジンルームの寸法に狂いがあり取り付け不具合となっていました。



不完全修理例② 油圧ホース取り付け部の締め付け不足でパワステポンプから油漏れ！

入庫した車のボンネットを開けるとパワステポンプから油漏れしていることが発覚した。原因を調べて見ると、油圧ホース取り付け部の締め付け不足でオイルが漏れていることが分かった。この状態で走行を続けると操舵力が欠如し操向不能となる恐れもある。



このような不具合車両をなくすために、皆様からの情報提供をお待ちしております。

4 RASEC 廃棄物から価値あるものへ

NGPでは、自動車に使用されている素材の再資源化により廃棄物を抑制し、環境負荷を低減、持続可能な社会の実現を目指します。

廃棄される車の取扱説明書から「環境教育ノート」を製作



環境教育ノートを通じて、「循環型社会・3R」の大切さと持続可能な社会に向けて「アップサイクル・廃棄物抑制」の重要性について学べる場を創ります



自動車整備業に関わる皆さまのお役に立ち続けるため
未来の地球環境を明るく照らし続けます。

さらなるCS向上に向けたリサイクルパーツの提案に

リサイクルパーツ特定システム
Repairs Direct System
リパーツダイレクトシステム (RDS)

自動車リサイクル部品のお問い合わせは
BSネットワークコールセンター
Tel:052-441-7503 (平日9:00~18:00) Fax:052-441-7628

新世紀のトータルカーシヨップ & アドバイザーとしての使命

組合員訪問



関東甲信越ブロック 長野第二支部 株式会社ボディシヨップキガサワ

人と環境にやさしい、 21世紀のトータルサービスシヨップ

長野県の南部に位置し、西に中央アルプス、東に南アルプスの雄姿を望むことができる「アルプスがふたつ映えるまち」として知られる駒ヶ根市で、钣金塗装を中心にした整備、車検、新車・中古車販売、保険、レッカーサービスなど総合的なモビリティサービスを行っているのがボディシヨップキガサワです。

設立は1977年、気賀沢成登現会長が鶏舎を使って「钣金塗装気賀沢自動車」を始めたのをきっかけに、モーターゼーションの進展とともに成長を遂げてきました。2000年頃には企業理念「人と環境にやさしい、21世紀のトータルサービスシヨップ」を掲げ、修理できるものは修理する。をモットーにそ

下請けから一般顧客とDRPへ、 そして今後は自動車メーカーに 選ばれる工場へ

同社がBSサミットに加わったのは2000年7月。ディーラー、モーターの下請けからの脱却を目指して1998年9月にいち早くカーコンビニ倶楽部を始めたことをきっかけに、全国各地から多くの方々が視察に訪れてきたと言

「カーコンビニ倶楽部で一般のお客様へサービスを提供する一方で、BSサミットへは保険会社からの入庫を期待して加入しました」と当時を振り返っていた



雄大な景色の中、緑の看板が映えるフロント入り口にはシッケンズ保証システム認定工場の看板が掲げられている



シッケンズの塗料を使用、調色室はとて綺麗に整頓がされている



エーミングツールの一部。基本的には純正を揃えているという



エーミングやフレーム修正に関わるエビデンスをしっかりと保存している

環境への配慮

同社について語るのに外せないのが塗装へのこだわりです。気賀沢社長は「ここからの修理工場は環境に配慮した塗料を使うことが

絶対条件だ」と自身の考えを述べます。その言葉の通り同社は、1991年からシッケンズの塗装システムを採用し、現在ではカラーエーミングやミリ波レー

次世代自動車への取り組み

自社の特徴を「すぐに行動、断らない」と表す気賀沢社長は、エーミングに対して積極的に取り組んでいます。同社がエーミングを始めたのは「スマートアシストがまだ無印の頃(2014年前後)だったと思

う」と記憶を辿って頂きました。そこから徐々に実績を積み重ね、現在ではカメラエーミングやミリ波レー

環境への配慮

同社について語るのに外せないのが塗装へのこだわりです。気賀沢社長は「ここからの修理工場は環境に配慮した塗料を使うことが

絶対条件だ」と自身の考えを述べます。その言葉の通り同社は、1991年からシッケンズの塗装システムを採用し、現在ではカラーエーミングやミリ波レー

次世代自動車への取り組み

取材の最後に気賀沢社長は、自身が大切にしている言葉を教えてくれました。吉田松陰が残した「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に理想をもち、計画し、実行する」というプロセスをやり遂げ、自分の手で夢を掴み取るという、社長の確固たる意思が感じられました。

環境への配慮

同社について語るのに外せないのが塗装へのこだわりです。気賀沢社長は「ここからの修理工場は環境に配慮した塗料を使うことが

絶対条件だ」と自身の考えを述べます。その言葉の通り同社は、1991年からシッケンズの塗装システムを採用し、現在ではカラーエーミングやミリ波レー

次世代自動車への取り組み

自社の特徴を「すぐに行動、断らない」と表す気賀沢社長は、エーミングに対して積極的に取り組んでいます。同社がエーミングを始めたのは「スマートアシストがまだ無印の頃(2014年前後)だったと思

う」と記憶を辿って頂きました。そこから徐々に実績を積み重ね、現在ではカメラエーミングやミリ波レー

ボディシヨップキガサワのスタッフ一同。後列左端が気賀沢信之社長、後列中央が気賀沢成登会長



若いスタッフが多く、新しいことにも積極的に取り組む姿勢があるという

備・人員・実績」が備わった工場であることを認定されたシッケンズ塗料保証認定工場として、同社が補修した新車塗膜の一次補修車に限り不具合の無料補修を約束しております。

また、同社ではリサイクルパーツの使用も積極的に取り行っており、お客様へ提案する際には「仕上がり満足されなければやり直します」と仕上がり品質を約束しているそうです。最初



ジグ式フレーム修正機(左)と三次元計測器(右)

自動車の進化に伴う様々な法改正

自動運転やADASをはじめとした先進技術の実用化に向けて、政府主導で自動運転技術や運転支援技術の普及が進められていますが、今後も様々な法改正が予定されています。2024年からのOBD車検開始に向けたこの期間は、まさに100年に一度の大変革期ともいえ、整備事業者に求められるハードルは益々上がりがつつあります。BSサミットは、日本の車体整備業界のリーディング組織として、時代の潮流を掴み様々な難局を乗り越えるべく、常に先を見据えた取り組みを行っています。

2018	4月 登録車OSS利用開始
2019	5月 軽OSS利用開始
2020	4月 改正道路運送車両法施行 電子制御式重量検査開始 特定整備の経過措置の開始
2021	4月 特定化学物質管理電子防漏規則等改正 10月 新点検基準施行 11月 実用車自動ブレーキ義務化 OBD車検プレテスト開始
2022	4月 遠隔ヒューマン連携判定等 5月 後述時車検後補修認定 新車検査義務化
2023	1月 検査証の電子化
2024	3月 特定整備の経過措置期間の終了 7月 輸入車自動ブレーキ義務化 10月 OBD車検 運用開始
2025	10月 輸入車のOBD車検開始 (2022年10月1日以降の輸入車のみ)
2026	12月 継続生産車 自動ブレーキ義務化 (継続生産車とは継続生産の枠内で認定されている車)
2027	9月 軽トラック 自動ブレーキ義務化

革命はここから始まる!

100年に一度の大変革期をともに勝ち抜いていく志高きメンバーを募集しています。

BSサミット事業協同組合
TEL 03-3538-2900 E-mail: honbu@bs-summit.co.jp
http://www.bs-summit.jp